

樹木粉碎機で資源循環

全国各地で活躍している樹木粉碎機だが、近年は農林業以外の分野でも用いられている。埼玉県東松山市の「埼玉県子ども動物自然公園」では、園内で飼育されているコアラやレッサーパンダなどの餌として使われる竹やユーカリの残材を処理するために、(株)カルイの樹木粉碎機「ドラゴン」が導入されている。処理した粉末は堆肥作りや飼育小屋の敷材、園内の通路の舗装材などへの利用を検討しているとのこと。都市近郊での資源循環・環境負荷軽減につながる今後も注目の取り組み。写真は園内でドラゴンを使用して竹を処理している様子。※詳細は1月1日号2部27面で既報



株式会社 新農林社
 編集発行人 岸田 義典
 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アビル2階 千101-0054
 電話 03 (3291) 3671 (代)
 FAX 03 (3291) 5717
 E-mail: shinorin@blue.ocn.ne.jp
 支社 大阪市浪速区元町1-9-11 丸元ビル201号室 千556-0016
 電話 06 (6648) 9861 (代)
 FAX 06 (6648) 9862
 E-mail: shinnoos@gold.ocn.ne.jp
 購読料一年 15,200円(税込)
 郵便番号 00100-1-170212



— 本年間キャンペーンテーマ —
 農機とAIの統合で
 農業革新を推進しよう